

Windows 7搭載のパソコンで録音するには

PS-LX300USB

Windows 7の仕様により動作上の制限事項がありますので、本機と接続して使用する前に必ず下記の注意事項をお読みになり、Windows 7で使用するための設定・操作を行ってください。

パソコンの準備をする

録音を始めるまえに、Windows 7に合わせてパソコンの録音用オーディオデバイスを設定してください。

① 録音デバイスの設定

[コントロールパネル]の表示方法が[カテゴリ]の場合の説明です。

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択する。
- 2 [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
- 3 [サウンド]の[オーディオデバイスの管理]をクリックする。
- 4 [録音]タブをクリックして、[USB Audio CODEC]が[既定のデバイス]になっているか確認する。
- 5 [USB Audio CODEC]を選択して[プロパティ]をクリックする。
- 6 [詳細]タブをクリックする。
- 7 [既定の形式]プルダウンメニューのリストから[2チャンネル、…](例：[2チャンネル、16ビット、44100Hz (CDの音質)]または[2チャンネル、16ビット、48000Hz (DVDの音質)])を選択する。
- 8 [OK]をクリックする。

ご注意

ステレオ信号を本機からパソコンへ入力する場合は、手順5から8の操作が必要です。

② 信号の入力レベルの設定

- 1 [USB Audio CODEC]のプロパティ画面で、[レベル]タブをクリックする。
- 2 スライダーをいったん0に移動する。
- 3 カーソルキーを使ってスライダーを調整する。

Level表示[0、0、1、2、3、…]の、2が本機に適した設定です。

このとき、消音ボタンがONになっていないことを確認してください。



- 4 [OK]をクリックする。

ご注意

入力レベルを推奨の設定範囲外に設定しないでください(左端の0にする、Level表示の数値を大きくするなど)。音が出なくなったり、音が歪んだりすることがあります。

③ デフォルト再生デバイスの設定

本機とWindows 7搭載のパソコンをUSBケーブルで初めて接続した場合、OS側の仕様で、[再生デバイス]に[スピーカー USB Audio CODEC]が追加され、自動的に[既定のデバイス]に設定されます。

そのままの設定ではパソコンのスピーカーから音が出ないため、Windows 7では下記の設定を行ってください。

[コントロールパネル]の表示方法が[カテゴリ]の場合の説明です。

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択する。
- 2 [ハードウェアとサウンド]を選択する。
- 3 [オーディオデバイスの管理]を選択する。
- 4 [再生]タブを選択する。
- 5 [再生]タブで、コンピュータのスピーカーを選択して[既定値に設定]をクリックする。
お使いのパソコンによって再生デバイスが異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書やヘルプを参照してください。
- 6 [OK]を選択し、[サウンド]画面を閉じる。

左記の操作が正しく行えない場合

本機をパソコンに初めてUSBケーブルで接続したときや、以前に接続したUSB端子と異なる端子に接続した場合は、USBデバイスドライバが再度、自動的にインストールされる場合があります。

その場合、USBデバイスドライバが正しくインストールされているか下記の手順で確認してください。

[コントロールパネル]の表示方法が[カテゴリ]の場合の説明です。

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択する。
- 2 [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
- 3 [デバイスとプリンタ]の[デバイスマネージャ]をクリックする。
- 4 [デバイスマネージャ]ウィンドウで、下記のデバイスがインストールされているか確認する。
 - [ヒューマンインターフェイスデバイス]下に[HID 準拠コンシューマ制御デバイス]、[USB入力デバイス]
 - [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]下に[USB Audio CODEC]
 - [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]下に[USB複合デバイス]